

さいたま市総合振興計画審議会第3部会（第1回）の意見整理表

資料1-1

No.	区	将来像 or 特性	まちポNo. or カテゴリ	委員の意見	対応（案）	反映要否	委員名
1	見沼	区の特徴	都市基盤・環境	「見沼代用水東縁と綾瀬川の流れる南東部には見沼田圃が広がり～」の表現が違うのではないかと。見沼田圃は带状に広がらないので「田園地帯」や「田園緑地帯」と記載の方がよい	見沼田圃の説明について、ガイドマップの記載に合わせる。 <修正案> 「国道16号～整備されています。一方、 <u>東部には、見沼代用水東縁、綾瀬川が流れ、南西部は芝川に近接しており、河川に沿って水田のほか、畑が広がり、背後の斜面林と一体となって「見沼田圃」の景観が形成されています。」</u>	必要	齋藤
2	大宮	区の特徴	特性	「特性」の「東日本の玄関口としての交通の結節点」とあるが、「首都圏の業務核都市」を表現に加えたかどうか。 また、将来像でも同様の表現を加えてほしい。	「業務核都市」としては、合併前の大宮市と浦和市が指定されている。大宮区だけの記載ではないため、そのままの記載としたい。	不要	小野
3	大宮	区の将来像	①ポイント1(2) ②ポイント2(2) ③ポイント2(3)	①「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」で、大栄橋の渋滞がひどく、駅前整備と併せて「東西方向の整備」にも対応してもらいたい。 ②「渋滞のない～」に「駅周辺の」を前置してほしい。 ③「自動車、自転車の～」に「高齢者等の」を前置してほしい	①については、大宮駅グランドセントラルステーション構想の「東西方向の道路ネットワーク強化・拡充」で対応することになるため、このままの記載としたい。 ②駅周辺に限らない記載としたい ③幅広い世代を含んだ記載が望ましいため、そのままの記載としたい。	不要	小野
4	大宮	区の将来像	ポイント1(6)	「やさしく、楽しみながら、安全安心…」としてほしい。	大宮駅周辺地域戦略ビジョンにも「初めて大宮を訪れる人も、大宮で働く人も、住む人も <u>楽しめる</u> まちをつくれます」とあるので「楽しめる」の文言を追加する。 <修正案> 「訪れる人誰にもやさしく、 <u>楽しく</u> 、安全・安心でおもてなしにあふれた大宮駅周辺のまちづくり」とする。	必要	小野
5	西	区の特徴	都市基盤・環境	①「コミュニティバスや乗合タクシーの運行により一定の改善が図られましたが」とあるが、区の端から端まで、特に桜区のコミュニティバスとのアクセスに関する記述を加えてほしい。 ②また、水害を防ぐための荒川の工事に関することも記載してほしい。	①については、今後も進める予定であり、「一層の充実が必要です」という既存の記載での対応としたい。御意見については所管局へも共有する。 ②国の事業で、計画中のものもあり、また、西区だけの記載ではないため、記載はしないこととしたい。	不要	島田
6	西	区の将来像	ポイント2(7) ポイント5(4)	景観の保全や史跡の保存などのボランティアが高齢化に伴い減っている。後継者等、保存する人のためにも、地域の組織の形成・育成についても記載してほしい。	地域組織の形成・育成という視点として、ポイント2(7)に「仕組みづくり」の文言を追加する。 <修正案> 「市民参画のまちづくりに向けた <u>仕組みづくり</u> 、ボランティア活動に関わるネットワーク支援」のように、「仕組みづくり」の文言を追加する。	必要	島田

さいたま市総合振興計画審議会第3部会（第1回）の意見整理表

資料1-1

No.	区	将来像 or 特性	まちポNo. or カテゴリ	委員の意見	対応（案）	反映要否	委員名
7	大宮	区の将来像	ポイント1標題	「利便性と機能性」は、同じような意味なので、「拠点性」など拡がりのある意味の言葉を用いた方が良い。	「利便性と機能性を兼ね備えた」を「拠点性を高めた」に変更する。 <修正案> 「東日本の玄関口としてふさわしい、 <u>拠点性を高めた</u> 大宮駅周辺のまちづくり」	必要	内田(奈)
8	大宮	区の将来像	ポイント1(4)	「大宮駅西口周辺」とあるが、東口も現在再開発が進んでいるので、「業務機能」という言葉を追加しても良いのでは。	大宮駅東口周辺の記載（ポイント1(3)）にも「業務機能の充実」についての文言を追加する。 <修正案> 「大宮駅東口周辺の <u>業務機能の充実</u> や商業の賑わいと氷川の杜の歴史・文化が調和したまちづくり」	必要	内田(奈)
9	大宮	区の将来像	ポイント2(2) ポイント2(3)	安心して歩き集えるような街づくりなど、歩行者の視点を加えてほしい。	歩行者の視点については、将来都市構造の中で示す予定のため、そのままの記載としたい。	不要	内田(奈)
10	全体	区の将来像	全体的	歩行者と自転車・自動車交通の記述に差があるので、各区の特徴に合わせて、記載した方がよい。	区の特徴データを踏まえた市民意見をもとに作成しているため、そのままの記載としたい。	不要	内田(奈)
11	全体	区の将来像	全体的	将来像をみた印象として、のっぺりしている。転入超過数をみても、将来的に高齢者は減り、若い人は増えていくものと考えられ、例えば、千葉市や西東京市に比べてよい状況。記載内容は変えなくてもよいが、他市との違いを出せるとよい。他にも「災害が少ない」「高速道路の状況もよい」などがある。 区それぞれによいところがある。事業所管者のためにも区の色を付けて、良いところを伝えるものであってほしい。北区は、高齢者が少ないが、子どもが多いので、「育成」に着目してもよいのでは。	区の特性や市民意見を踏まえて、区の将来像は作成しているため、このままの記載としたい。北区で言えば、「育成」に着目すると、ポイント1(2)の「子育て環境の充実～健康で元気に暮らせるまちづくり」やポイント3(1)の「学校と～子どもを地域全体で育てる風土づくり」などの特徴について記載している。	不要	秋元
12	全体	区の特性	全体的	全体構成で、将来都市構造が先に出てくる。それが区ごとに落ちてきたときに関係性が読めない。「区マップ」については整理中という認識でよいのか。	現在、区マップについては整理中。第1部会の将来都市構造と調整して決定したい。 ※第3回第3部会で最終的な案を示す予定。	継続検討	岡本

さいたま市総合振興計画審議会第3部会（第1回）の意見整理表

資料1-1

No.	区	将来像 or 特性	まちポNo. or カテゴリ	委員の意見	対応（案）	反映要否	委員名
13	緑	区の特徴	都市基盤・環境	美園駅周辺では、副都心を作っている最中で、若い人も増えている。『定住人口・交流人口を増やすこと』について、「新しいライフスタイル」の記述を「働く人の観点」で記載してほしい 【岡本委員の質問の意図は以下の通り】 居住人口・交流人口も大事だが、昼間人口も意識すべきであり、それを意識した働き方や新しい郊外ライフスタイルについて、市全体として記載があった方がよい	昼間人口を意識した新しい郊外ライフスタイルについての記載については、今後のまちづくりには重要な視点ではあるが、市全体の方向性として、もう少し上位のレベルで記載するかどうかの議論も必要だと考えるため、第1部会とも調整して決定したい。 ※第3回第3部会で最終的な案を示す予定。	継続検討	岡本
14	全体	区の特徴	全体的	『健幸』とあるが、特性は客観的事実を記載すべきで、「健康」を使わない理由を確認したい。	市で作成した造語であるため、使用する場合は、以下のとおり注釈を入れるなどして分かりやすい記載とする。 ※「健幸」とは…身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、心豊かな生活を送れることを表す、市で作成した造語	必要	石川
15	岩槻	区の特徴	都市基盤・環境	『都市基盤の整備が追い付いていない面があり、公共下水道の整備、子どもや高齢者、障害者でも安心して歩ける生活道路や』とあるが、追い付いていないのは「調整区域」のためである。市域の20～30%の市街化区域を基に記載すべき。	調整区域の基盤整備も含んだ表現として、そのままの記載としたい。	不要	三次
16	岩槻	区の特徴	都市基盤・環境	人口が減っている。小中学校の廃校もあり得る状況になっている。10年後の特性にこの状況を加えて対応を考えていてもらいたい。	人口減少の対応として、「交流人口・定住人口の増加」の文言を追加する。 <修正案> 「さいたま市東部地域の発展と市の副都心としての役割をはたすための新しい軸の形成と交流人口・定住人口の増加が期待されています」	必要	三次
17	北	区の特徴	都市基盤・環境	「国道17号線、国道16号東大宮バイパス、産業道路など広域幹線道路が整備された交通利便性の高い地区」とあるが、東西方向の道路は寸断されたままで、以前、道路計画があったが計画中止になり、踏切も多いなど、交通面でまだ問題がある。	貴重な御意見として関係部署に共有する。	不要	川鍋

さいたま市総合振興計画審議会第3部会（第1回）の意見整理表

資料1-1

No.	区	将来像 or 特性	まちポNo. or カテゴリ	委員の意見	対応（案）	反映要否	委員名
18	北	区の将来像	ポイント1標題	安全安心とあるが、警察署が移転して不安である。警察署の設置を県に聞くと難しいとのことだが、整備計画を立ててほしい。	貴重な御意見として関係部署に共有する。	不要	川鍋
19	浦和	区の特性	全体的	マンションが増えて子供たちが多くなってきたのは嬉しいが、狭い土地にマンションが多く建設され、日照の問題が出てきた。また、外国人が増えてきたので、地域とのかかわり方が課題となるのではないか。	全区的な問題であり、分野別計画の「コミュニティ・人権・多文化共生」で記載される内容でもあるため、区の将来像・特性としては、このままの記載としたい。	不要	藤枝
20	桜	区の将来像	全体的	市街化調整区域に指定されていることで、人が集えない状況になっている。人が集まれば賑わいが生まれるので、その辺を考慮した上で区の将来像を考えてほしい。	賑わいの作り方としては、既存の施設などを利用しながら、大学や地域住民の協働でイベントを実施するなど、様々な方法も考えられる。ポイント2及び4の内容に含まれるため、このままの記載としたい。	不要	茂木
21	全体	—	全体的	自治会連合会の大きな課題として、加入率が低下し、60%という問題がある。特に駅周辺のマンション加入率が低い。安全なまちづくりでは自治会が機能していることが大切である。行政が力を入れて自治体加入を促進していく必要があるのではないか。計画の中にも自治体の存在価値を高めるための内容を入れて欲しい。	自治会などのコミュニティについては、市全体の取組みとして、分野別計画の「コミュニティ・人権・多文化共生」の中で別途記載予定のため、このままの記載としたい。	不要	松本
22	中央	—	全体的	中央区は、旧与野市時代に概ねすべてのものができている。しかし最近では、ベッドタウン化としてマンションが多くなっており、自治会に入らないケースが多い。	No.21と同様の対応としたい。	不要	本澤
23	全体	—	全体的	区ごとに問題の大小がある。岩槻区、桜区は人口減が課題、浦和区、大宮区は人口増に伴う問題。それをどういう風にしていくか市全体として取り組む必要があるのではないか。	貴重な御意見として関係部署に共有する。	不要	磯田
24	桜	—	全体的	桜区に住んでいるが、高齢者が多い。地元で子供のころから住んでいる人がいなくなっている。農業の2代目問題は、小規模農地で、費用が高いのが要因。	貴重な御意見として関係部署に共有する。	不要	内田(幸)
25	全体	区の特性	全体的	「産業」のカテゴリがある区と、ない区がある。 区の特徴が整理されている上で、各区の特性を議論することを考えると5区で「産業」テーマが議論されないと困るので、その意図を知りたい。	全ての区（10区）で産業のカテゴリを設定する方向で検討中。 ※第3回第3部会で最終的な案を示す予定。	継続検討	永沢

# 「西区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	豊かな自然と歴史文化を活かす すべての人と生活にやさしい 潤いあるまちづくり 水と緑と花が象徴する豊かな自然環境、それに囲まれた潤いある住環境、歴史に根ざした地域文化、地域コミュニティの温かさなど西区の特性が調和したまちを実現するとともに、地域住民による主体的な取組を基礎として、すべての人々が共に生きるまちづくり、協働によるまちづくりを進め、区民が心豊かに誇りをもって住み続けられるまちを実現します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化調整区域の在り方等、まちづくりの将来像が見えてこないで、地域をどう活性化するのか見えてこない。</li> <li>文化の中心、軸がどこにあるのかぼやけているように思う。</li> <li>市の計画と区の計画を合わせて夢のある姿を描きたい。</li> </ul>	豊かな自然と歴史文化を活かす すべての人と生活にやさしい 潤いあるまちづくり 水と緑と花が象徴する豊かな自然環境、それに囲まれた潤いある住環境、歴史に根ざした地域文化、地域コミュニティの温かさなど西区の特性が調和したまちを実現するとともに、地域住民による主体的な取組を基礎として、すべての人々が共に生きるまちづくり、協働によるまちづくりを進め、区民が心豊かに誇りをもって住み続けられるまちを実現します。
	<p><b>1. 安全で、安心して暮らせるまちづくり</b></p> <p>(1) 歩道や街灯などの充実やバリアフリーのまちづくり</p> <p>(2) 鉄道駅や主要施設を結ぶ交通ネットワークの充実</p> <p>(3) 災害や犯罪などに対する安全性の向上</p> <p>(4) 公共用水域の水質保全のための公共下水道の普及、公園やコミュニティ関連施設など公共施設が身近に利用できる環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設のバリアフリー化を進めてほしい。</li> <li><b>生活道路、区を中心道路ということ考えながら道路の改善を進めていく必要がある。</b></li> <li>コミュニティバスが将来的に西区全体を循環し、皆の生活が便利になると良い。</li> <li>南北に道を通すなど交通網を充実させたい。</li> <li>高齢化に備え公共交通網を重視する必要がある。</li> <li>コミュニティバスについて、運行時間や運賃を改善すれば利用率が上がるのでは。</li> <li>公民館の老朽化対策や公民館への道路整備が課題となっている。</li> <li>災害時に増加している人口を収容できる施設が必要ではないか。</li> <li><b>下水の「普及」は「利用促進」ではないか。</b></li> </ul>	<p><b>1. 安全で安心して暮らせるまちづくり</b></p> <p>(1) 歩道や街灯などの充実やバリアフリーのまちづくり</p> <p><b>(2) 歩行者が安心して通行できる生活道路の整備</b></p> <p>(3) 鉄道駅や主要施設を結ぶ交通ネットワークの充実</p> <p>(4) 災害や犯罪などに対する安全性の向上</p> <p>(5) 公共用水域の水質保全のための公共下水道の普及 <b>と利用促進</b>、公園やコミュニティ関連施設など公共施設が身近に利用できる環境の整備</p>
まちづくりのポイント	<p><b>2. 活力のあるまちづくり</b></p> <p>(1) 生活に密着した商業、都市農業など、区の特徴を生かした産業の育成</p> <p>(2) 生産者、消費者、行政が連携した地産地消の推進</p> <p>(3) 鉄道駅周辺の整備による活性化</p> <p>(4) 区の特徴を生かした学習活動やスポーツ、健康づくりの機会の充実</p> <p>(5) 三橋総合公園などの特色ある公園を生かした交流の場づくり</p> <p>(6) 豊かな自然と歴史文化にふさわしい景観の保全、文化財や史跡の活用と維持、保存による地区の魅力向上</p> <p>(7) 市民参画のまちづくりに向けた、ボランティア活動に関わるネットワークの支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物のブランド化を試みたいと考えている。</li> <li>将来的に区役所から北に商店街が出来ればと考えている。</li> <li>商店街、商業施設が少ない。</li> <li>店舗誘致。</li> <li>農業体験。</li> <li>造成事業が終了した後はどの様にまちづくりをしていくのかあらかじめ検討を行っておくべき。</li> <li>西大宮付近の開発。</li> <li>地元の住人が優先的に使用できる体育館や運動場(施設)があると良い。</li> <li>「緑と水」で人を呼び込む仕組みが出来ないかと考えている。</li> <li>文化資源の継承(地元の人以上にも)。</li> </ul>	<p><b>2. 活力のあるまちづくり</b></p> <p>(1) 生活に密着した商業、都市農業など、区の特徴を<b>活</b>かした産業の育成</p> <p>(2) 生産者、消費者、行政が連携した地産地消の推進</p> <p>(3) 鉄道駅周辺の整備による活性化</p> <p>(4) 区の特徴を<b>活</b>かした学習活動やスポーツ、健康づくり <b>や施設</b>の充実</p> <p>(5) 三橋総合公園などの特色ある公園を<b>活</b>かした交流の場づくり</p> <p>(6) <b>民俗芸能等の無形の文化財や史跡等の有形の文化財</b>の活用による地区の魅力向上</p> <p>(7) 市民参画のまちづくりに向けた<b>仕組みづくり</b>、ボランティア活動に関わるネットワークの支援</p>
	<p><b>3. 子育てしやすいまちづくり</b></p> <p>(1) 子育て世代にあった保健福祉、教育、交流の充実</p> <p>(2) 共働き世帯の増加と少子化の流れに対応し、区民による支え合いの仕組みなども取り入れた、仕事と家庭を無理なく両立できる子育て支援の充実</p> <p>(3) 公共施設などを活用した多世代交流の機会づくりや、子ども・青少年の活動機会の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てしやすい。</li> </ul>	<p><b>3. 子育てしやすいまちづくり</b></p> <p>(1) 子育て世代に<b>合</b>った保健福祉、教育、交流の充実</p> <p>(2) 共働き世帯の増加と少子化の流れに対応し、区民による支え合いの仕組みなども取り入れ、仕事と家庭を無理なく両立できる子育て支援の充実</p> <p>(3) 公共施設などを活用した、多世代交流の機会づくり <b>や</b>子ども・青少年の活動機会の充実</p>
	<p><b>4. 高齢者が生き生きと生活できるまちづくり</b></p> <p>(1) 高齢者が社会活動に参加できる機会や高齢者の健康づくりの充実</p> <p>(2) 地域住民や民生児童委員、地区社会福祉協議会との連携・協力などを通じた高齢者の自立した生活を見守る環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化に対応して様々なサービスが求められる中で社会福祉協議会のあり方の見直しが必要と考えている。</li> <li>家族の介護が難しい中、介護する人材をいかに確保していくのか計画に盛り込みたい。</li> <li>地域福祉の取組みにおいて、社会福祉協議会との連携について言及すべきではないか。</li> <li><b>連携の中で、情報の共有のため「行政」との言葉も入れたい。(地域包括支援センター)</b></li> <li>地域の人々との関わりが薄い。</li> </ul>	<p><b>4. 高齢者や障害者が生き生きと生活できるまちづくり</b></p> <p>(1) 高齢者が社会活動に参加できる機会や高齢者の健康づくりの充実</p> <p><b>(2) 行政と</b>地域住民や民生児童委員、地区社会福祉協議会、<b>地域包括支援センター</b>の連携・協力などを通じ、高齢者の自立した生活を見守る環境の整備</p> <p><b>(3) 障害者の地域生活を支援するネットワークづくり</b></p>
	<p><b>5. 環境と共生したまちづくり</b></p> <p>(1) 雑木林や川、貴重な動植物などの豊かな自然を残し、生かすまちづくり</p> <p>(2) 自然環境と調和したまちづくりに向けた、農地の保全と休耕地の有効活用</p> <p>(3) 市民参加による自然環境の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然が多い。</li> <li>緑と共生するまちづくり。</li> <li>休耕地等、農地の有効活用を進めていきたい。</li> <li>中古の農機を使用してはいいかがか。</li> <li>休耕地を団体等が借りる取組み例はあるのだろうか。</li> <li>休耕地を団体等が借りる取組みとして学校で利用すると教科書にないことも学べ、教育に良いのでは。</li> <li>びん沼の<b>水辺をいかした</b>活性化の方法について考えていただきたい。</li> <li>アジサイ祭り。</li> <li><b>自転車道</b>のネットワークを作る、ということがあっても良いのでは。</li> </ul>	<p><b>5. 環境と共生したまちづくり</b></p> <p>(1) 雑木林や川、貴重な動植物などの豊かな自然を残し、<b>活</b>かすまちづくり</p> <p>(2) 自然環境と調和したまちづくりに向けた、農地の保全と休耕地の有効活用</p> <p>(3) 市民参加による自然環境の保全</p> <p><b>(4) 豊かな自然と歴史文化にふさわしい景観の保全及び史跡の維持、保存</b></p> <p><b>(5) 水辺を活かした環境の整備</b></p> <p><b>(6) 区の花アジサイを活かした環境の整備</b></p> <p><b>(7) 自然環境を生かしたサイクリングロードの整備</b></p>

# 「北区の将来像」(素案)(第3部会(第1回))の意見反映

	後期基本計画	主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	<p><b>私が住みたいまちづくり 市民参加で日々創造</b> —「ちょうどよいまち」から「もっとよい北区」—</p> <p>まちづくりとは、日々、より良いものを創り続ける持続的なものです。住民、地域団体、事業者、行政など各主体が互いに協力して、豊かな自然と快適な生活環境の調和を図り、盆栽をはじめとする地域資源を生かしつつ、北区の魅力あるまちづくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住んでいてよかったとのアンケートがあるが、子どもが転出して<u>誇れる</u>まちづくりが重要。</li> <li>冒頭のキャッチフレーズの「住みたいまちづくり」ではなく、<u>これから何をするか</u>という点を示すべき。</li> <li>北区にはよくなった点とこれからの点がある。</li> <li>北区(帰宅)なので、家庭に寄り添った絆、ソフト面の取組を意識したキャッチフレーズが重要。</li> </ul>	<p><b>私が誇れるまち 市民参加のまちづくり</b> —<u>住み続けたいまち</u> <u>もっとよいまち</u> <u>北区</u>—</p> <p>住民、地域団体、事業者、行政などが<u>連携</u>して、豊かな自然と快適な生活環境の調和を図り、盆栽をはじめとする地域資源を生かしつつ、<u>市民参加でみんなが誇れる</u>魅力あるまちを<u>目指します</u>。</p>
まちづくりのポイント	<p><b>1 安全で安心して元気に暮らせるまちをつくる</b> (1)防災・防犯・事故防止に取り組む安全・安心なまちづくり (2)子育て環境の充実、健康づくりへの支援、地域における支え合いなどによる、子どもから高齢者まで、誰もが心身ともに健康で元気に暮らせるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯のことを考えてほしい。</li> <li>小中学生向けの防犯強化</li> <li>高齢者サロン、子どもサロンを社協で開催してはどうか。</li> <li>子育ての保育園は少ない。</li> <li><u>子育て、健康づくり、支え合いなどは重要なので、まとめて書くより書き分けた方がよい。</u></li> <li>北区4地区の中で日進には児童センターがない。子どもは重要。</li> </ul>	<p><b>1 安全で安心して元気に暮らせるまちをつくる</b> (1)防災・防犯・事故防止に取り組む安全・安心なまちづくり <u>(2)子育て環境の充実による、子どもが安心して健康で元気に暮らせるまちづくり</u> <u>(3)健康づくりへの支援、地域における支え合いなどによる、誰もが心身ともに健康で元気に暮らせるまちづくり</u></p>
	<p><b>2 良好な住環境と円滑な交通環境をつくる</b> (1)住宅、工場、農地及び自然環境との調和や景観形成、生活に身近なインフラの整備などによる良好で快適な住みやすい環境づくり (2)公共交通の充実、道路の整備、道路や駅のバリアフリー化、自動車・自転車・歩行者の交通ルールの啓発と交通マナーの向上などによる安全で良好な交通環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北区の人口が流出しないような仕組みをつくっていききたい。幼稚園や病院へ行けることが重要。</li> <li>草取りなど昔は皆で対応する文化があったが、今は行政任せになっている。地区別に皆が集まる仕組みが必要。</li> <li>住環境は優れた役割であり、皆の幸せ、繋がり等のソフト面の施策(医療、安全安心、緑、交通等)を北区のイメージとすると分かりやすい。</li> <li>自転車には不便でありバリアフリー化をしてほしい。</li> <li>住・交通について、鉄道はよいが踏切が多い。9+11の20カ所ある。東西関係が分断されており立体交差にしてほしい。</li> <li>鉄道と川の分断を超える東西交通の充実をバス等のソフトで一体感をつくることが重要。</li> <li>川越線は日進以西が単線。考えてほしい。</li> <li>日進・宮原・東宮原・大宮に行くシャトルバスの運行。</li> <li>人口増加に伴う駅の強化。</li> </ul>	<p><b>2 良好な住環境と円滑な交通環境をつくる</b> (1)住宅、工場、農地及び自然との調和や景観形成、生活に身近なインフラの整備などによる良好で快適な住みやすい環境づくり (2)公共交通の充実、道路の整備<u>などによる利便性の向上や</u>、道路や駅のバリアフリー化、自動車・自転車・歩行者の交通ルールの啓発と交通マナーの向上などによる安全で良好な交通環境づくり</p>
	<p><b>3 教育・文化の充実とコミュニティの活性化を図り、ふれあいのあるまちをつくる</b> (1)学校と地域の結びつきの強化などによる、地域への愛着心の育成と子どもを地域全体で育てる風土づくり (2)盆栽・漫画など固有の伝統文化の育成・継承とともに、新たな地域資源を発掘し、国内外への情報発信とこれらを活かしたまちづくり (3)スポーツ・レクリエーションや、様々な生涯学習のための環境づくり (4)古くから住んでいる住民と新しい住民の交流や世代間交流、コミュニティ同士の交流など多様な交流が盛んなまちづくり (5)地域活動への住民の参加促進と行政による支援の充実、地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北区は学校が開かれていた地域への密着度が高い。コミュニティスクールのモデル校となっている。</li> <li><u>Bonsai</u>は世界で通じるので、外国人等に対応できるボランティアが増えるとよい。</li> <li>大宮公園からの導線を盆栽、漫画などをテーマに商店街も含めて観光化できないか。</li> <li>行政として菜の花をビジュアルでアピールすべき。</li> <li>文化・伝統・歴史の価値認識。(盆栽等)</li> <li>子どもがのびのび遊べる環境が必要。</li> <li>北区には体育館がない。多様な機能をワンコインで備え、家から出かける機会を作ることが重要。</li> <li>相続で緑が切り売りされている中でどのようにコミュニケーションを深めるかということではないか。</li> <li>新旧交流について表記の工夫が必要。<u>子育て世代、若い世代、高齢世代</u>など交流がしやすいようにすべき。</li> <li>まちづくりは鉄道と川で分断されている。これを繋げることが重要。</li> </ul>	<p><b>3 教育・文化の充実とコミュニティの活性化を図り、ふれあいのあるまちをつくる</b> (1)学校と地域の結びつきの強化などによる、地域への愛着心の育成と子どもを地域全体で育てる風土づくり (2)盆栽・漫画など固有の伝統文化の育成・継承とともに、新たな地域資源を発掘し、国内外への情報発信とこれらを<u>生</u>かしたまちづくり (3)スポーツ・レクリエーションや、様々な生涯学習のための環境づくり (4) <u>若い世代、子育て世代、高齢世代</u>の世代間交流、<u>住民間の交流</u>、<u>コミュニティ間の交流</u>など多様な交流が盛んなまちづくり (5)地域活動への住民の参加促進と行政による支援の充実、地域づくり <u>(写真の変更「区民まつり」)</u></p>
	<p><b>4 自然環境の豊かなまちをつくる</b> (1)市民の森、三貫清水、北区の花「菜の花」や、盆栽町に代表される街なかの緑など豊かで心安らぐ緑地と、鴨川・芝川など水辺環境とのつながりによる、潤いのあるまちづくり (2)水と緑との共生に向けた、環境保全のための活動の充実と意識づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の森(見沼田圃)は素晴らしい。</li> <li><u>北区の花を一番目にすべき。</u></li> <li>70年経つが、元々は住宅もなく田圃だった。北区では昔は川がきれいでも魚もいた。</li> <li>ポイント4の自然について、台風の際に桜が倒れたが盆栽の街としてPRする際にも桜は重要。</li> <li>盆栽についても相続で緑がなくなっていく。農業と同じような仕組みを考えてほしい。</li> <li>保存林制度で盆栽も補助金がもらえるのではないか。</li> </ul>	<p><b>4 自然環境の豊かなまちをつくる</b> (1) <u>北区の花「菜の花」</u>、市民の森、三貫清水や、盆栽町に代表される街なかの緑など豊かで心安らぐ緑地と、鴨川・芝川など水辺環境とのつながりによる、潤いのあるまちづくり (2)水と緑との共生に向けた、環境保全のための活動の充実と意識づくり</p>
	<p><b>5 産業の活性化を図り、働きやすい環境をつくる</b> (1)地域資源を生かし、地域住民のニーズに密着した、人が集まり楽しく過ごせる活力ある商店街づくり (2)盆栽や漫画などの地域資源を活用した、多くの人が訪れる観光のまちづくり (3)地域産業の活性化と、事業者との連携による若者や女性などが働きやすい環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大宮公園からの導線を盆栽、漫画などをテーマに商店街も含めて観光化できないか。例えば、駅で盆栽や漫画をアピール。駅周辺、個人商店の活気がない。</li> <li>ショッピングモールを中心とした他地区からの集客。</li> <li>Bonsaiは世界で通じるので、外国人等に対応できるボランティアが増えるとよい。</li> <li>さいたま市の特徴に応じて、お土産が必要。サッカーや盆栽などではないか。</li> <li>盆栽、まんが、桜、プラザノース、菜の花があるが、いいところを活かききれていない。</li> <li>産業については、盆栽に加えて、氷川神社とセットで人を呼び込んでどうか。</li> <li><u>鉄道博物館</u>は来場者が減少傾向にあった中、1棟増設して人気回復。北区の宣伝にも活用すべき。</li> <li>産業・働き方については、IT、AI等、新たなステージの10年間について若者を巻き込んだ形とすべき。</li> </ul>	<p><b>5 産業の活性化を図り、働きやすい環境をつくる</b> (1)地域資源を生かし、地域住民のニーズに密着した、人が集まり楽しく過ごせる活力ある商店街づくり (2)盆栽・漫画・<u>鉄道</u>などの地域資源を活用した、多くの人が訪れる観光のまちづくり (3)地域産業の活性化と、事業者との連携による若者や女性などが働きやすい環境づくり</p>

# 「大宮区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	主な市民意見 (次期計画に反映した意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	<p>うるおいのある高度な生活基盤と氷川の杜の緑と文化が調和するまち</p> <p>商業・経済都市としてのまちのにぎわいと暮らしやすい生活環境、憩いの空間である氷川の杜の緑や見沼田圃の自然など、大宮区の特徴をより高めながら、多彩な資源を活用して地域文化を発信し、人と人との交流が生み出す活力あるまちづくりを進めます。</p>	<p>うるおいのある高度な生活基盤と氷川の杜の緑と文化が調和するまち</p>	<p>うるおいのある高度な生活基盤と氷川の杜の緑と文化が調和するまち</p> <p>商業・経済都市としてのまちの賑わいと暮らしやすい生活環境、憩いの空間である氷川の杜の緑や見沼田圃の自然など、大宮区の特徴をより高めながら、多彩な資源を活用して地域文化を発信し、東日本の玄関口にふさわしい風格ある都市及び人と人との交流を生み出すヒト、モノ、情報が行き交う対流拠点として、魅力と活力あるまちづくりを進めます。</p>
まちづくりのポイント	<p><b>1 東日本の玄関としてふさわしい、利便性と機能性を兼ね備えた大宮駅周辺のまちづくり</b></p> <p>(1)大宮駅周辺とさいたま新都心駅(東口)とが一体となった広域的なまちづくり</p> <p>(2)大宮駅東口における商業の賑わいと氷川の杜の歴史・文化が調和したまちづくり</p> <p>(3)大宮駅西口周辺の商業・業務機能の充実と、都市施設整備や緑化推進などによる洗練されたまちづくり</p> <p>(4)さいたま新都心駅(東口)の商業・文化機能を中心とした、人・物・情報が行き交うまちづくり</p> <p>(5)子どもから高齢者までの地域住民のみならず、訪れる人誰にもやさしく、安心して利用できる大宮駅周辺のまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大宮区は全国的に高齢化する中で、現時点では若年層が多く、これからの数年がチャンスではない。</li> <li>大宮は都会と見られているが東京の都心とは比べものにはならないので、大宮駅を中心におしゃれにしてほしい(GCS)。</li> <li>外部から来る人が多い(賑わっている)。</li> <li>大宮駅からビジネスチャンスを創出するためには、バス等の交通、ビジネスホテル等が課題では。</li> <li>行政としてマッチングなどに取り組んでほしい。</li> <li>企業、大学、テレワークの誘致。</li> </ul>	<p><b>1 東日本の玄関口としてふさわしい、拠点性を高めた大宮駅周辺のまちづくり</b></p> <p>(1)大宮駅周辺とさいたま新都心駅(東口)とが一体となった広域的なまちづくり</p> <p>(2)大宮駅グランドセントラルステーション化構想による交通基盤整備、駅機能高度化及び駅周辺街区のまちづくり</p> <p>(3)大宮駅東口周辺の業務機能の充実や商業の賑わいと氷川の杜の歴史・文化が調和したまちづくり</p> <p>(4)大宮駅西口周辺の商業・業務機能の充実と都市施設整備などによる洗練されたまちづくり</p> <p>(5)さいたま新都心駅東口周辺の商業機能の充実などによる賑わいと活力あるまちづくり</p> <p>(6)訪れる人誰にもやさしく、楽しく、安全・安心でおもてなしにあふれた大宮駅周辺のまちづくり</p>
	<p><b>2 質の高い生活環境と安心して暮らせるまちづくり</b></p> <p>(1)安全で安心して暮らせる、災害に強く、犯罪のないまちづくり</p> <p>(2)渋滞のない道路交通や安全な生活道路など、道路・交通環境の整った快適に暮らせるまちづくり</p> <p>(3)区民の健康増進や環境対策の推進などによる、健康に住み続けられるまちづくり</p> <p>(4)育児環境の整った子育てをしやすいまちづくり</p> <p>(5)学校と地域との活発な交流から生まれる、教育環境の整ったまちづくり</p> <p>(6)身近な公共施設の整備などに、計画段階から地域住民が参加するまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通渋滞、自転車マナー、高齢者交通安全等に課題がある。</li> <li>高齢者は、車を運転しなくなると引きこもる傾向があるので、移動のためにバスを増やしてほしい。</li> <li>2025年問題といわれているが、高齢者の居場所が重要なテーマとなる。</li> <li>道路が暗く、事故が多い。</li> <li>高齢者が安心して自転車で出かけられることが重要。</li> <li>荒川、芝川を結ぶ自転車道がない。整備すれば利用されると思う。</li> <li>交通の便がよい。</li> <li>道路交通(バス便) 駅前の渋滞。</li> <li>屋根付きの道路・アーケードを作る。</li> <li>近所づきあいが少なくなっている中で、子育てや介護の情報を提供するルートの構築が重要。</li> <li>青少年の視点で見ると、公園の整備拡充や遊具の充実が重要。</li> <li>図書館の改善。</li> <li>学童の改善。</li> </ul>	<p><b>2 質の高い生活環境と安心して暮らせるまちづくり</b></p> <p>(1)安全・安心に暮らせる、災害に強く、犯罪のないまちづくり</p> <p>(2)渋滞のない道路交通や安全な生活道路など、道路・交通環境の整った快適に暮らせるまちづくり</p> <p>(3)自動車、自転車の交通ルール・マナーの啓発による交通事故のないまちづくり</p> <p>(4)区民の健康増進や環境対策の推進など、健康に住み続けられるまちづくり</p> <p>(5)育児環境の整った子育てをしやすいまちづくり</p> <p>(6)子どもから高齢者まで誰もが元気に活動できるまちづくり</p> <p>(7)学校と地域との活発な交流による教育環境の整ったまちづくり</p> <p>(8)身近な公共施設の整備など、計画段階から地域住民が参加するまちづくり</p>
	<p><b>3 氷川神社などの区の魅力の発信と、人の交流が生み出すまちづくり</b></p> <p>(1)氷川の杜の緑や見沼田圃の自然などの緑のイメージ、氷川神社や鉄道をはじめとする歴史伝統文化などの地域固有の資源を活用した個性ある地域文化の創造と発信</p> <p>(2)伝統芸能の振興に加え、地域に根付いた特色ある祭りや誰もが参画できるイベントの積極的な活用と発信</p> <p>(3)まちの情報や観光ルートが充実した訪れたいまちづくり</p> <p>(4)区民自らがまちの魅力を知り、高め、伝えるまちづくり</p> <p>(5)若者が集い、活力ある文化を発信するまちづくり</p> <p>(6)区民による文化・スポーツ活動と大宮区を拠点とするプロサッカーチーム大宮アルディージャとの交流による一体感の醸成</p> <p>(7)地域住民相互の交流の活発化、行政と連携したボランティア活動などによるコミュニティづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>氷川参道は観光資源として推すべき。なだらかでやさしい点が魅力。</li> <li>適度に緑が多い。</li> <li>ブランド力。</li> <li>スポーツ施設を使った高齢者の健康維持の取組み。</li> <li>これまで観光のまちとして意識してこなかったので、表示、言語、イベント等で対応すべきではないか(国内外から)。</li> <li>観光のまちとして見た場合、大宮は便利だが、大宮にしかないものがないのが課題。</li> <li>行政と連携したコミュニティづくりに関しては15~65歳の現役世代が住みたくなるまちづくりが重要。</li> <li>幼いころからスポーツ・鉄道に親しめる取組。</li> <li>いきいき100歳体操の場で民生委員と話をすることができた。近所、自治会、地域で支えあうことが重要。</li> <li>地域住民の交流。</li> </ul>	<p><b>3 区の魅力の発信と、人の交流が生み出すまちづくり</b></p> <p>(1)氷川の杜の緑や見沼田圃の自然、氷川神社や鉄道をはじめとする歴史伝統文化などの固有の地域資源を活用した個性あるまちづくり</p> <p>(2)伝統芸能の振興、地域に根付いた特色ある祭りなど、誰もが参画できるまちづくり</p> <p>(3)まちの情報や観光ルートが充実した国内外から訪れたいまちづくり</p> <p>(4)行政と区民の協働により、まちの魅力を新たに作りながら、それを知り、高め、伝えるまちづくり</p> <p>(5)若者が集い、活力ある文化を発信するまちづくり</p> <p>(6)区民による文化・スポーツ活動の充実と大宮アルディージャとの交流によるまちづくり</p> <p>(7)地域住民相互の交流の活発化、行政と連携したボランティア活動などコミュニティづくりによるまちづくり</p>
	<p><b>4 自然環境と調和したうるおいのあるまちづくり</b></p> <p>(1)氷川の杜の緑や見沼田圃の自然などを保全し、憩いの場としての活用</p> <p>(2)緑の拠点づくり、鴨川・鴻沼川・芝川・見沼代用水などを生かした水と緑のネットワーク化</p> <p>(3)街路樹の整備などによる市街地の景観に配慮したゆとりある空間の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>氷川神社の緑の増やし方や参道のあり方を検討すべき。飲食等の楽しみを増やすことも重要。</li> <li>適度に緑が多い。</li> <li>氷川神社や鉄道博物館がある。</li> </ul>	<p><b>4 自然環境と調和したうるおいのあるまちづくり</b></p> <p>(1)氷川の杜の緑や見沼田圃の自然などを保全し、憩いの場としての活用によるまちづくり</p> <p>(2)鴨川・鴻沼川・芝川・見沼代用水などを生かした水と緑のネットワーク化によるまちづくり</p> <p>(3)街路樹の整備などによる市街地の景観に配慮したゆとりある空間の創出によるまちづくり</p>

# 「見沼区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	 主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	<b>見沼の自然との共生</b> <b>—私たちが まもり育てる 見沼の文化—</b> 区民と行政の協働により、見沼の豊かな自然と心のふれあいをまもり、動きやすく、生活しやすい、安全で安心なまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みよいまちづくりに向け、行政や住民だけでなく、<b>事業者</b>も協力していく必要がある。</li> <li>・見沼、といっても広く、それを表すような表現があれば良いのでは。</li> <li>・魅力では広く、共生という雰囲気を出す方がよい。これからも住んでいくという点から、くらし、という言葉が合っている気がする。</li> <li>・農業を育てる、といった文言が入っても良いのではないかな。</li> </ul>	<b>見沼の自然との共生</b> <b>—私たちが まもり育てる 見沼の文化—</b> 区民、 <b>事業者、行政</b> の協働により、見沼区 <b>の地域資源である豊かな自然や歴史などを守り育てるとともに、ふれあいのある</b> 生活しやすい、安全で安心なまちづくりを推進します。
まちづくりのポイント	<b>1 見沼の自然を生かしたまち</b> (1)見沼の多様な自然の保全・活用とネットワーク化の推進 (2)見沼の自然を生かし、人々が集まり、活動し、交流することのできる、豊かな水と花や緑あふれるオアシスの創造 (3)区民と行政が協働して取り組む、環境や景観に配慮した住宅地の整備、斜面林等の緑地の保全、農業体験や地産地消等を踏まえた農地の保全など自然と調和した土地利用 (4)自然エネルギーの活用促進など、環境負荷の少ないまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルについて、自然を<b>身近に感じられる</b>まちづくり、という表現が良いのでは。</li> <li>・見沼区の緑を守る必要があり、そのために制度に基づく規制を検討していく必要があるのでは。</li> <li>・駅と見沼たんぼのアクセスなど、人が流れる街づくりの仕組みがあれば良いと考えている。</li> <li>・緑を守れという人は多いが、緑を守る人は少ない。ボランティアは有償ボランティアにすべきではないか。</li> <li>・見沼たんぼ等、自然が身近にある。</li> <li>・見沼の自然を生かし、人々が集まれるところが思い浮かばない。</li> <li>・見沼たんぼを活用したイベントを活発にし、住民同士の交流の機会を増やす。</li> <li>・見沼区は自然のあるところ、住宅地があるところが分離されており、それらをつなげる憩える場所があれば良い。</li> <li>・市民が見沼たんぼに入って行けるような、自然を生かしていく仕組みがあれば、市民と見沼たんぼがつながるのでは。</li> <li>・散歩していても休憩する場所がなく、あればもっとPRできるだろう。</li> <li>・自然を売りにするのであれば、人が気軽に集える環境を整え、イベントや野菜等の農作物をアピールする取組を行い、発信する必要がある。</li> <li>・住み始めたころに比べ、住民と行政が清掃活動に取組ようになり、まちがきれいになってきている。</li> <li>・農地の保全に加え、農地の振興があっても良い。<b>農業の振興</b>、活性化という方向であるとよい。</li> <li>・地産地消という表現があっても良いのでは。</li> <li>・住宅が増え、若い世代の人口が増加している</li> <li>・農地が近いと、さいたま市産の野菜が身近に入手できる。</li> <li>・自然を売りにするのであれば、人が気軽に集える環境を整え、イベントや野菜等の農作物をアピールする取組を行い、発信する必要がある。</li> </ul>	<b>1 見沼の自然を生かし、身近に感じられるまち</b> (1)見沼の多様な自然の保全・活用とネットワーク化の推進 (2)見沼の自然を生かし、人々が集まり、活動し、交流することのできる、豊かな水と花や緑あふれるオアシスの創造 (3)区民、 <b>事業者、行政</b> が協働して取り組む、環境や景観に配慮した住宅地の整備、斜面林等の緑地の保全、農業体験や地産地消等を踏まえた <b>農業の振興と</b> 農地の保全など自然と調和した土地利用 <p style="text-align: right;"><u>(写真の変更)</u></p>
	<b>2 人にやさしく、ふれあいのあるまち</b> (1)子どもがのびのびと育ち、高齢者が生き生きと暮らせる、あらゆる人にやさしい、思いやりのある地域づくり (2)見沼の自然や歴史など、地域固有の資源を生かした誇りと愛着の持てるコミュニティの創出と文化の振興 (3)様々な分野の組織や世代を超えた人々が交流できる場や機会の充実と、情報共有の促進 (4)既存施設などの充実や有効活用による、様々な地域活動の活性化に向けた環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりのポイントに「<b>若者、障害者、外国籍の方</b>」という言葉が入っても良いのでは。</li> <li>・高齢者が生き生きと、ということは重要だが、高齢者が活躍する場を用意するという趣旨であってほしい。</li> <li>・見沼区は広く、同じ区民同士が考えあえる場があればよいのでは。</li> <li>・文化、は意味合いが広く、共生というほうが合っている気がする。</li> <li>・区役所が行っている活動がPR不足→見える化。</li> <li>・地域住民が交流できる場所を増やす。</li> </ul>	<b>2 人にやさしく、ふれあいのあるまち</b> (1)子どもがのびのびと育ち、 <b>若者、高齢者、障害者</b> が生き生きと <b>健康に暮らし活動できる、あらゆる</b> 人にやさしい、思いやりのある地域づくり (2)見沼の自然や歴史など、地域固有の資源を生かした誇りと愛着の持てるコミュニティの創出と文化の振興 (3)様々な分野の組織や世代を超えた人々が交流できる場や機会の充実と、情報共有の促進 (4)既存施設などの充実や有効活用による、様々な地域活動の活性化に向けた環境づくり
	<b>3 動きやすく、生活しやすいまち</b> (1)子どもから高齢者までが移動しやすい、電車・バス・自転車による交通網の充実と、駅や区役所など主要施設へのアクセス性の向上 (2)スポーツ施設間の連携促進と気軽に運動しやすい環境づくり (3)駅周辺の活性化や下水道の充実など、暮らしやすい生活基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの「動きやすい」は「動きたくなる」の方が良いのでは。</li> <li>・高齢化率を考えると交通網を整備すべきである。</li> <li>・自転車専用道路を整備するのはよいが、車道を整備した後に、道幅を考えて整備してほしい。</li> <li>・障害者や高齢者にとって、体育館や駐車場などの段差の問題やスロープが無かったりなどする<b>(バリアフリー化)</b>。</li> <li>・公共施設の利用環境を改善したい。</li> <li>・スポーツ施設を使った高齢者の健康維持の取組み。</li> <li>・<b>道幅が狭く</b>子供の通学に影響しているのでは。また交通マナーが悪く、改善されればよい。</li> <li>・区画整理が遅れていて東大宮周辺の<b>道路がいらくんで</b>いる。</li> </ul>	<b>3 動きやすく、生活しやすいまち</b> (1)子どもから高齢者までが移動しやすい、電車・バス・自転車による交通網の充実と、駅や区役所など主要施設の <b>バリアフリー化と</b> アクセス性の向上 (2)スポーツ施設間の連携促進と気軽に運動しやすい環境づくり (3)駅周辺の活性化や、 <b>道路、</b> 下水道の充実など、暮らしやすい生活基盤づくり
	<b>4 地域ぐるみで進める安全・安心なまち</b> (1)地域と行政の連携による防災・防犯・交通安全対策の推進 (2)歩行者や自転車が安全に、安心して利用できる道路環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の観点からは、通学路に空き家や倒壊の危険性があるブロック塀などがあり、対応をして欲しい。</li> <li>・木造住宅が多く延焼の危険性がある。また救急車・救急車が入れない可能性もあり、区画整理をやったほうが良いのでは。</li> <li>・<b>地域には企業があり、それら企業と協働</b>できるまちづくりの仕組み作りがあってもよいのでは。</li> <li>・<b>自転車</b>が安心して通れる道があれば、区全体のネットワークが出来、交流が深まるのでは。</li> <li>・通学路における子供の安全や、<b>子供と高齢者の居場所</b>づくりに取り組む必要がある。</li> </ul>	<b>4 地域ぐるみで進める安全・安心なまち</b> (1) <b>区民、事業者、行政</b> の連携による防災・防犯・交通安全対策の推進 (2) <b>子どもから高齢者までの</b> 歩行者や自転車が安全に、安心して利用できる道路環境の整備 <p style="text-align: right;"><u>(写真の追加)</u></p>



# 「中央区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	ふれあい 調和のとれた都市文化の創造と交流が育てる安心なまち 中央区には、古くから引き継いできた歴史と文化の薫る街並みと家族のような人々の深いつながりがあります。その従来から培われた伝統を生かしながら、さいたま新都心を中心とする都市の魅力を加え、安全・安心な“美しいまち”“美しい心があふれるまち”を創り、次の世代に伝えていくため、人々が積極的に発言し、主体的に行動するまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市文化については、変えた方がよい。「調和のとれた都市文化」のイメージが湧かない。</li> <li>中央区に多くの組織がある中で、「交流が育てる安心なまち」を進めていくことが重要。このフレーズはよい。</li> <li>中央区としてPRできるものがあつたらいいと思う。</li> </ul>	ふれあい 歴史と文化の調和のとれた都市の創造と交流が育てる安心なまち 中央区には、古くから引き継いできた歴史と文化の薫る街並みと家族のような人々の深いつながりがあります。その従来から培われた伝統を生かしながら、さいたま新都心を中心とする都市の魅力を加え、安全・安心な“美しいまち”“美しい心があふれるまち”を創り、次の世代に伝えていくため、人々が積極的に発言し、主体的に行動するまちを目指します。
	まちづくりのポイント	<p><b>1 区の特徴を生かした魅力的な街並みと緑豊かな環境づくり</b></p> <p>(1) 区の花バラや与野の大カヤ、鴻沼川の桜、蔵造りの街並みなど、自然や資源の保全・活用・充実</p> <p>(2) 公園などのまとまった緑の保全・充実、そうした緑の拠点を川や道を利用してつなぐ緑のネットワークの形成</p> <p>(3) ごみの減量化やリサイクル、省エネルギーなどの環境保全活動や道路・公園の清掃などの環境美化活動の推進</p> <p><b>2 地域資源を生かした、調和のとれたにぎわいづくり</b></p> <p>(1) 街並みや緑、歴史・文化などの古くからある資源とさいたま新都心や彩の国さいたま芸術劇場などの新しい資源を生かした、古いものと新しいものの調和</p> <p>(2) さいたま新都心を中心とした、地域全体の魅力向上と地域の均衡ある発展</p> <p>(3) JR埼京線沿線の未利用地や道路空間などを有効活用した人々の集まる新たな空間の形成</p> <p>(4) 活気ある商店街と地域社会を支える産業の活性化</p> <p><b>3 学びと交流を通じた、地域の誇りと愛着を持つ人づくり</b></p> <p>(1) 明日を担う健全な子どもたちの育成と地域の特性を生かした教育の推進</p> <p>(2) 地域の歴史・伝統・文化や人材を活用した生涯学習や人づくりの実践</p> <p>(3) 子どもから高齢者に至るまで、幅広い世代における地域との関わりや交流を創出する仕組みづくり</p> <p><b>4 ふれあいと支え合いによる、安全・安心と生きがいのある地域づくり</b></p> <p>(1) 地域で安心して、子どもを産み育てられる環境と、子どもたちの健やかな成長を支える場や機会の提供</p> <p>(2) 地域福祉における支え合いのネットワークづくりや交通手段の確保、交通への向上等による高齢者や障害者をはじめとした区民の安全・安心で生き生きとした暮らしの確保</p> <p>(3) 災害時における区民自らの役割である自助と地域で支え合う共助、行政の役割である公助などによる安全・安心な地域づくり</p> <p><b>5 区民との協働による地域に根ざしたまちづくり</b></p> <p>(1) 主要な公共施設の再編整備等における、区民と共に進めるまちづくり</p> <p>(2) 地域を支える自治会をはじめとした各種団体への加入促進による地域活動の活性化</p> <p>(3) 区民の自主的な活動と連携の積極的な支援によるコミュニティの充実</p> <p>(4) 区民と行政の協働の仕組みづくりと協働の実践の機会の創出</p> <p>(5) 地域に根ざした従来からのきめ細かいサービスの維持・向上と、他区との連携による新しいサービスの展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川沿いの道を歩きやすくすべき。桜がきれいなのでベンチを置いてはどうか。</li> <li>高沼用水の護岸に歩道が整備されるとよい。</li> <li>鴻沼はもう少し力を入れて水と緑と花のネットワークの中で重点化すべきだ。</li> <li>公園が多く子育てがしやすい。</li> <li>スーパーアリーナ・芸術劇場があり、文化施設・イベントが充実。</li> <li>芸術劇場周辺に若手アーティスト(役者、音楽家、作家等)に住んでもらう。アート地区を目指す。</li> <li>大宮・浦和の間にあり、利便性が良い。</li> <li>イメージシンボル、アピール不足。</li> <li>ガード下の有効活用。</li> <li>駅の沿線環境整備。</li> <li>本町通りの活性化が必要。一方通行にして子どもを中心に歩行者の安全を向上させる必要がある。</li> <li>駅前に生活利便施設が少ない。</li> <li>子どもにとってよいふるさと、誇りの持てる街を作りたい。</li> <li>学びと交流とあるが、高齢者の社会参加の勧めが重要。老人会の加入率は20%。</li> <li>今すぐに高齢化に対するビジョンが必要。子どもも同じ。高齢者の居場所、子どもの遊び場が少ない。</li> <li>1丁目ごとに20坪の居場所があればよく、15時頃までは高齢者、それ以降は子どもが利用すればよい。</li> <li>高架下の有効利用が重要。午後3時頃まで高齢者、それ以降は子どもが利用すればよい。</li> <li>居場所については、雨風が凌げればプレハブでよい。トイレとキッチンがあれば高齢者は集まって談義することを好む。</li> <li>障害者福祉も高齢化が進んでおり、近年障害別に活動している。</li> <li>まちかどでお茶ができればよい。郊外よりまちなかが重要だ。</li> <li>バイパスの西側のアクセスは悪くないが、高齢者施設や障害者施設が集中し、交番がないなど子どもが寄れるところが少ない。</li> <li>治安が良い。</li> <li>公園が多く子育てがしやすい。</li> <li>安全安心が重要であり、高齢者にとっては、車がないと外に出かけられない状況にある。</li> <li>高齢者や子どもにとって安心して通れる、歩ける道路が重要で、コミュニティバスも検討してほしい。</li> <li>本町通りの活性化が必要。一方通行にして子どもを中心に歩行者の安全を向上させる必要がある。</li> <li>高齢者の買物のためにバスが必要。</li> <li>子ども自転車免許の取組の中で、父母が交通ルールを知ることが重要。マ-の前にル-である。</li> <li>安全安心なまちづくり、歩行者と自転車専用道の増設等。</li> <li>振興会では年2回イベントを実施している。春にスポーツフェスティバル、秋にハイキングである。</li> <li>外国人が多いという話だが、2020年に多くのボランティアが必要となる。民泊を含め交流への準備が必要となる。</li> <li>大宮・浦和の間にあり、利便性が良い。</li> </ul>

# 「桜区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	<p><b>三世代がつくる元気印のまち</b>  <b>—自然あふれる住みよい環境—</b>                      桜区には、桜草公園から続くグリーンベルトをはじめ、数多くの歴史的・文化的資源のほか、伝統ある埼玉大学、区民の活動拠点となるプラザウエストやスポーツ施設などがあります。今後、これらの地域資源を生かし、子どもから高齢者まですべての区民が生き生きと活動でき、ずっと住みたいと思えるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三世代」というのも他の都市で掲げているのではないか。</li> <li>・「<b>豊かな生活文化</b>があるまちづくり」という言葉を入れてみては。</li> <li>・区としてのテーマを明確にする。</li> </ul>	<p><b>三世代がつくる元気なまち</b>  <b>—自然があふれ、人々がふれあう住みよい環境—</b>                      桜区は、<b>西側を荒川が流れ</b>、桜草公園、<b>秋ヶ瀬公園</b>から続くグリーンベルトや数多くの歴史的・文化的<b>財産</b>のほか、<b>知的財産</b>である埼玉大学、区民の活動拠点となるプラザウエストやスポーツ施設などがあります。これらの地域資源を生かし、<b>豊かな生活文化を育むことにより</b>、子どもから高齢者まですべての区民が生き生きと活動でき、<b>住み続けたい</b>と思えるまちづくりを進めます。</p>
まちづくりのポイント	<p><b>1 「自然」と「便利さ」の調和する、住みやすいまちづくり</b>                      (1) 自然と調和し、生活環境の整った、安らぎのある住みよいまちづくり                      (2) 地域の産業の活性化と、これを生かした、ふれあいやにぎわいを生むまちづくり                      (3) 公共交通の充実と、自動車・車いす・人・自転車安心してスムーズに移動できる道路の整備など交通環境の向上                      (4) 自然資源や歴史的・文化的資源などの保全と、これら地域の財産を生かしたまちづくり                      (5) 一人ひとりの意識の向上と、地域の人々と行政のみならずごみの減量化・リサイクルの推進によるきれいなまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋ヶ瀬公園周辺の<b>スポーツ施設などの活用</b>を。</li> <li>・自然が多い。</li> <li>・<b>西浦和駅周辺はバイパスからの出入りが分かりづらく、乗り入れしづらい。</b></li> <li>・<b>車に頼らざるを得ない地域が多い。交通の便が悪い。</b></li> <li>・<b>埼玉大学に駅から歩いて行けない。</b></li> <li>・<b>歩道が狭いなど、安全に通れる道路が少ない。</b></li> <li>・桜区のよいところをもっとPRすべき。</li> <li>・企業誘致が進んでいない。</li> <li>・観光やイベントの企画を増やして、昼間にも活気ある区を目指す。</li> </ul>	<p><b>1 自然と便利さが調和する、住みやすいまちづくり</b>                      (1) <b>豊かな</b>自然や歴史的・文化的<b>財産</b>の保全と、それらの<b>積極的な活用</b>                      (2) 地域産業の活性化と、<b>地域資源</b>を生かした、ふれあいやにぎわいの<b>機会の創出</b>                      (3) <b>地域に密着した道路整備などによる生活環境の向上</b>                      (4) <b>駅へのアクセスを含めた公共交通の充実などによる利便性の向上</b></p>
	<p><b>2 子ども、高齢者、障害者にやさしく、元気に暮らせるまちづくり</b>                      (1) 安心して、しっかりと子育てのできるまちづくり                      (2) 子どもたちと地域の住民や大学生などが関わりを深めながら、たくましく育つまちづくり                      (3) 高齢者や障害者が暮らしやすく、元気に活躍できるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>多世代や地域間交流</b>が可能となるイベントやお祭りなどを区全体で盛り上げるべき。</li> <li>・<b>埼玉大生と地域住民が協働</b>して学習塾を開いている。</li> <li>・<b>高齢者の交流が課題。集まれる場所が少ない。</b></li> <li>・子ども、高齢者、障害者にやさしいまちづくりが重要。</li> <li>・こども食堂を検討しては。</li> </ul>	<p><b>2 子ども、高齢者、障害者など、すべての人にやさしいまちづくり</b>                      (1) <b>地域に暮らす様々な世代が支え合う</b>、安心してしっかりと子育てができる<b>環境の整備</b>                      (2) 子どもたちの<b>健全育成に向けた</b>、<b>地域の人々や大学生などとの交流の促進</b>                      (3) 高齢者の<b>健康づくり支援と、地域における支え合いの推進</b>                      (4) <b>誰もが生き生きと暮らし、元気に活躍し続けるための機会の充実</b></p>
	<p><b>3 みんなが仲良く安全に安心して暮らせるまちづくり</b>                      (1) 防災・防犯に行政と住民が協働して取り組む、安全で安心なまちづくり                      (2) 古くから住んでいる住民と新しい住民の交流や多世代の交流など、住民がコミュニケーションを深めながら、互いに連携し、誰もが参加して活動を継続できるコミュニティづくり                      (3) 自治会活動やボランティア活動など、子どもから高齢者までの地域住民の活動が盛んなまちづくり                      (4) 誰もが気軽に参加できる住民活動の機会や環境の充実                      (5) 埼玉大学の英知や若さと連携したまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、特に水害時に高齢者をどう避難させるか、具体的な<b>防災計画</b>が必要。</li> <li>・鴻沼川や鴨川の氾濫想定周知が足りない。</li> <li>・<b>地域内のコミュニケーション</b>が課題。見守りなどボランティア活動を活発にすることが必要。</li> </ul>	<p><b>3 安心して暮らせる安全なまちづくり</b>                      (1) <b>地域の人々と行政が協働して取り組む</b>、<b>地震対策や風水害対策の強化と防災意識の醸成</b>                      (2) <b>地域の人々と行政が協働して取り組む</b>、<b>防犯活動や交通安全運動の推進</b></p>
	<p><b>4 みんなでつくるまち</b>                      (1) 「住民のやる気」を育む仕組みづくり                      (2) 地域の人々と行政が様々な情報を発信し合い、協働し、信頼関係を生み出すまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会活動等に取り組んでいる多くが高齢世代。各世代による参加者をもっと増やしたい。</li> <li>・<b>世代間交流</b>のイベント開催、公園を活かしたイベント開催などのコミュニティづくり。</li> <li>・<b>埼玉大</b>は国内外から学生が集まり、人的・知的資源にあふれている。子どもたちと埼玉大生との交流や、優れた技術で桜区に貢献してほしい。</li> </ul>	<p><b>4 すべての人が参加するまちづくり</b>                      (1) 自治会をはじめとする各種団体などと行政が協働して取り組む、<b>地域活動の推進</b>                      (2) <b>地域に暮らす誰もが気軽に交流し、連携して活動することのできる機会の充実</b>                      (3) 地域の人々と行政が<b>協働して取り組む</b>、<b>環境美化活動の推進</b>                      (4) <b>埼玉大学の英知の活用や若さあふれる感性との交流の促進</b>                      (5) 地域の人々と行政が情報を<b>共有し</b>、<b>協働することによる</b>、<b>信頼関係に基づくまちづくりの推進</b></p>

# 「浦和区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	<p><b>にぎわいと文教の調和する緑豊かなまち</b>  <b>一ワクワク浦和区、わたしの明日をつくるまち、わたしが明日をつくるまち</b>                      浦和宿に代表される歴史と文化を伝える文教都市・浦和区は、都心としてにぎわいのある地区と、緑豊かな落ち着いた住環境の地区の2つが共存しています。この特性を踏まえ、住み続けたいまち、行ってみたいと思えるまちとしての魅力を一層高めるため、地域に住む人々の参加と協働を基本に、浦和区の歴史、文化、環境の資産を生かしたまちづくりを進めます。</p>	<p>・郷土愛、住む人が街を愛する、といった言葉を区の将来像のタイトルの下に入れる。</p>	<p><b>にぎわいと文教の調和する緑豊かなまち</b>  <b>一ワクワク浦和区、わたしの明日をつくるまち、わたしが明日をつくるまち</b>                      浦和宿に代表される歴史と文化を伝える文教都市・浦和区は、都心としてにぎわいのある地区と、緑豊かな落ち着いた住環境の地区の2つが共存しています。この特性を踏まえ、住み続けたいまち、行ってみたいと思えるまちとしての魅力を一層高めるため、地域に住む人々の参加と協働を基本に、浦和区の歴史、文化、環境の資産を生かした<b>郷土愛があふれる</b>まちづくりを進めます。</p>
まちづくりのポイント	<p><b>1 世代や文化、地域を超えた多様な交流のあるコミュニティづくり</b>                      (1)身近な地域での交流や活動の活発化によるコミュニティ意識の醸成                      (2)地域住民が交流し、地域をより深く知り、考える場や機会の積極的な創出                      (3)地域住民と行政の協働を実現するための環境の整備                      (4)世代や文化、居住する地域など様々な差異を超えて人々がふれあい、だれもが楽しく活動し、人々の理解と共感が広がるまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人が地域に参加するようになるには、都内で働いている人たちの地元愛を育む必要がある。</li> <li>・自治会については「まちづくりのポイント1」で、自治会活動を通じて、という言葉を入れては、</li> <li>・高層マンションが非常に増えている中で生活文化が異なる人々が多く入ってくることが予想され心配。</li> <li>・地域リーダーとして若い人を育成する必要がある、中学生、高校生が区政に参加する仕組みが必要。</li> <li>・市役所の広場の有効活用(イベントを増やす)。</li> <li>・新たな住人達の入りやすい地域活動。</li> <li>・子どもと高齢者の交流イベント。</li> </ul>	<p><b>1 多様な交流のあるコミュニティづくり</b>                      (1)身近な地域での交流や活動の活発化によるコミュニティ意識の醸成                      (2)地域住民が交流し、地域をより深く知り、考える場や機会の積極的な創出                      (3)地域住民と行政の協働を実現するための環境の整備                      (4)世代や文化、居住する地域など様々な差異を超えて人々がふれあい、だれもが楽しく活動し、人々の理解と共感が広がるまちづくりの推進</p>
	<p><b>2 文教都市などの「浦和ブランド」を活用した魅力あるまちづくり</b>                      (1)子どもたちの夢と希望をはぐくむ、地域に密着した教育の推進                      (2)生涯を通じた学びの場と機会の拡充                      (3)恵まれた伝統ある教育・文化・スポーツ資源を活用した、芸術・文化活動の振興                      (4)旧中山道や神社仏閣が伝える歴史、サッカーやうなぎのまちとしての特性などを生かした区の魅力の向上と情報発信力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年生でサッカー大会を行い卒業するというのは日本全国でも浦和だけ。このような小さな頃からの取組みがまちの歴史につながるのでは。</li> <li>・浦高に入れるために浦和に引越す人もいと聞るので、文教都市として浦高や一女をもう少しPRしてはどうか。</li> <li>・新しい住民が増える中で、まちの文化・歴史を知った上で新しいことにチャレンジすることが重要と考えている。</li> <li>・うなぎを含め浦和区として、地域の魅力として発信したいものの広報の方法を工夫すべきでは。</li> <li>・ケーキやパンの消費量が全国1位、2位だとテレビの情報番組で聞いており、そのような点に焦点を当てるべきでは。</li> <li>・まちの文化・歴史の情報発信の方法が重要。</li> <li>・うなぎの店舗が少なくなり知名度の減少につながっている。</li> <li>・うなぎ以外の名産も売り出していけば区のイメージ向上になるのではないか。</li> <li>・自治会でウォーキングをし、うなぎを食べに行くイベントを開催したが、参加した小学生も喜んで食べていた。そういったことを通じて広げていくのも一つの手だと思う。</li> <li>・その他ベッドタウンとの差別化。</li> </ul>	<p><b>2 「浦和ブランド」を活用した魅力あるまちづくり</b>                      (1)子どもたちの夢と希望をはぐくむ、地域に密着した教育の推進                      (2)生涯を通じた学びの場と機会の拡充                      (3)恵まれた伝統ある教育・文化・スポーツ資源を活用した、芸術・文化活動の振興                      (4)旧中山道や神社仏閣が伝える歴史、サッカーやうなぎのまちとしての特性の<b>活用や、新たな浦和ブランドによる</b>区の魅力の向上と情報発信力の強化</p>
	<p><b>3 東西が連携し、一体性と「にぎわい」のあるまちづくり</b>                      (1)鉄道と挟んだ東西連携による一体的なまちづくり                      (2)駅周辺などにぎわいの拠点や商店街の持つそれぞれの魅力を再発見、活用した、誰もが訪れやすい活気のあるまちの再生と創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会、商店街の組織的な活動が難しくなっている。商店街にチェーン店が増加していることも一因。</li> <li>・<b>若い人たちが集まるまちづくりが必要になる。</b></li> <li>・<b>商店街の活性化には魅力あるまちづくりが課題だが、商店街だけでなく区民全体の課題だと思う。</b></li> <li>・商店街は子どもの見守りや対話が生まれる場であるなど、まちが一体化する原点であった。</li> <li>・商店街の活性化には基盤となる人対人の関係が大事になる。</li> <li>・商店街の衰退。</li> <li>・駅前商業施設が充実している。</li> </ul>	<p><b>3 一体性と「にぎわい」のあるまちづくり</b>                      (1)鉄道を挟んだ東西連携による一体的なまちづくり                      (2)駅周辺などにぎわいの拠点や商店街の持つそれぞれの<b>魅力を活用した、若い世代を中心に誰もが訪れやすい活気のあるまちづくりの推進</b></p>
	<p><b>4 ひとにやさしい誰もが安心して暮らせるまちづくり</b>                      (1)交通事故、犯罪などの危険や騒音のない、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進                      (2)災害に強く、安全、快適な都市空間の創出                      (3)誰もが安心して移動できる環境の整備                      (4)仕事と介護や子育ての両立支援を含む、高齢者や障害者、子育てに対する総合的な支援体制の充実                      (5)高齢者や障害者の自立と支援、子育てなどを互いに助け合い、誰もが元気に活動できる地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの在り方としては安全安心を第1に考えることも1つの方法では。</li> <li>・道路の段差や交通マナーが気になる。マナーや食文化を伝えていくには小さいころからの教育が重要。</li> <li>・治安が良い。</li> <li>・駅周辺の環境(自転車、渋滞)。</li> <li>・通学路など危険だと感じる場所が多い。</li> <li>・地元坂が多く、高齢者の買物が難しくなっている。</li> <li>・将来像についてはこの様な買い物難民についての対策も考えていただきたい。</li> <li>・通学路など危険だと感じる場所が多い。</li> <li>・保育園、学童(放課後児童クラブ)の不足。</li> <li>・保育所の整備、保育士の確保、または子どもと高齢者のマッチング。</li> </ul>	<p><b>4 ひとにやさしい誰もが安心して暮らせるまちづくり</b>                      (1)交通事故、犯罪などのない、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進                      (2)災害に強く、安全、快適な都市空間の創出                      (3)誰もが安心して移動できる環境の整備                      (4)仕事と介護や子育ての両立支援を含む、高齢者や障害者、子育てに対する総合的な支援体制の充実                      (5)高齢者や障害者の自立と支援、子育てなどを互いに助け合い、誰もが元気に活動できる地域づくり</p>
	<p><b>5 緑豊かな美しい街並みとゆとりある住環境を創出するまちづくり</b>                      (1)中高層住宅と周辺環境とが調和した、ゆとりと潤いのある住環境の維持・創出                      (2)緑豊かな美しい街並みづくりなど、地域の環境向上に向けた住民参加による取組の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高層マンションが非常に増えている中では、生活文化が異なる人々が多く入ってくることが予想され、心配している。</li> <li>・外国人も含め多様な人が入ってきている。またマンションが立ち並び景観も失われている。</li> <li>・浦和駅西口の再開発で浦和駅周辺が変わっていけば浦和区も変わっていくのではないかと。</li> <li>・緑が減ってきているように感じるが、公園にも緑を増やし子どもたちが自然の中で暮らすようにすれば、両親もずっと住み続けたいと思うのでは。</li> </ul>	<p><b>5 緑豊かな美しい街並みとゆとりある住環境を創出するまちづくり</b>                      (1)中高層住宅と周辺環境とが調和した、ゆとりと潤いのある住環境の維持・創出                      (2)緑豊かな美しい街並みづくりなど、地域の環境向上に向けた住民参加による取組の推進</p>

# 「南区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	<p><b>あなたが主役 住んでよかったまちづくり</b></p> <p>南区は、本市の南の玄関口として、交通や生活利便性の高さから、若い世代を中心に人口流入が続いています。区民ニーズが多様化する中で、生活環境の整備を進めるとともに、住民相互の交流や住民活動の活性化を図りながら、郷土愛を醸成し、長く住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。</p>	<p>これからの将来像として、新しく住む人も、これまで住んでいた人も、男性も女性も交流できるようにしたい。</p>	<p><b>「にぎわい」と「安心」が調和する 住んでよかったまち</b></p> <p>利便性を生かしたまちづくりや世代を越えた交流によるにぎわいの創出、共に支え合える人々の温かさや別所沼等の自然、歴史・文化から得られる安心感により、多くの人を呼び、誰もが南区の良さを実感し、心から住んでよかったと思えるまちを目指します。</p>
まちづくりのポイント	<p><b>1 人と地域が結び付く、活力あふれるまちづくり</b></p> <p>(1) 区民の自主的な活動とコミュニケーションの活性化により、世代間の交流と地域社会に参加できるまちづくり</p> <p>(2) 行政とのパートナーシップの構築を通じた協働によるまちづくり</p> <p>(3) 誰もが楽しめる交流・活動拠点の充実によるまちづくり</p> <p>(4) 地域のイベントがなくなると区民のふれあいによるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南区は若い世代が増えているが、学校だけのあいさつ運動だけでなく、<b>大人を巻き込んだ活動</b>を今後すべきと考えている。</li> <li>将来的にコミュニケーションの場として、傾聴ボランティアなど、コミュニケーションの場を作ってもらえれば。</li> <li>人口が増えているが自治会に入らない人が多く、行政の支援をお願いしたい。</li> <li>まちづくりの実施方法について、<b>行政内や地域の団体間で横の連携が重要</b>になる。そのリンクをとるのが自治会ではないかと考え、ポイントになると考えている。</li> <li>以前に比べ公民館が利用できなくなった。<b>公民館を借りやすい状況</b>を作っていただきたい。</li> <li>地域で飲食の提供をしているが、<b>活動をする場所の確保</b>が難しく、空き家の利活用を検討できないか。</li> <li>今後児童センターの様な施設を作る場合、<b>子供と高齢者が集える場所</b>を作ってほしい。</li> <li>公民館について、民間企業が職員となりコミュニケーションがとりにくくなっている。</li> <li>地形を活かした遊び場(別所沼、競馬場等)。</li> <li>新しく住む人も、これまで住んでいた人も、<b>男性も女性も交流できるように</b>したい。</li> <li>南浦和駅、武蔵浦和駅の精神的距離感を縮める活動があっても良いのでは。</li> <li>祭りなど昔からのイベントが残っている。</li> </ul>	<p><b>1 人と地域が結び付く、活力あふれるまちづくり</b></p> <p>(1) 区民等の自主的な活動とコミュニケーションの活性化により、<b>多世代が交流し</b>地域社会に<b>参画</b>できるまちづくり</p> <p>(2) <b>区民・団体・事業者</b>・行政のパートナーシップの構築を通じた協働によるまちづくり</p> <p>(3) 誰もが楽しめる<b>活動・交流</b>拠点の充実によるまちづくり</p> <p>(4) 地域のイベント<b>を通じた区民等</b>のふれあいによるまちづくり</p>
	<p><b>2 子どもから高齢者まで元気に健康で暮らせるまちづくり</b></p> <p>(1) 若い世代が多いという地域の特性を踏まえた、子育てしやすいまちづくり</p> <p>(2) 一人ひとりが健康を維持・増進できるよう、互いに支え合うまちづくり</p> <p>(3) 家庭、地域社会と連携した学校教育による明日の時代を担う青少年の育成</p> <p>(4) 誰もが文化・芸術に親しめるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>赤ちゃんを行政と共に住民が支えているという取組み</b>を入れていただきたい。</li> <li>経験を伝えるなどして<b>子育てをフォロー</b>して、内容を行政に報告しているが、民生委員の活動にも限度がある。</li> <li><b>子供を小さな地域だけではなく、区全体で支える</b>ことが必要だ。</li> <li><b>勉強やコミュニケーション等、子どもの居場所</b>がなく、公民館、図書館の環境を整えていただきたい。</li> <li>南区では若い世代の流入もあるが<b>高齢者は年々増える一方</b>である。</li> <li>高齢者が増加する中で南区に大きな病院がないことを心配している。</li> </ul>	<p><b>2 子どもから高齢者まで健康で元気に暮らせるまちづくり</b></p> <p>(1) 若い世代が<b>子育てしやすいと思える</b>まちづくり</p> <p>(2) 一人ひとりが健康を維持・増進できる、互いに支え合うまちづくり</p> <p>(3) 家庭・地域社会・<b>行政が連携し、子どもの成長をはぐくみ、健全な</b>青少年を<b>育成するまちづくり</b></p> <p>(4) 誰もが文化・芸術・<b>スポーツ</b>に親しめるまちづくり</p> <p>(5) <b>高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり</b></p>
	<p><b>3 安全・安心なまちづくり</b></p> <p>(1) 事故や犯罪のない安全・安心なまちづくり</p> <p>(2) 地震や水害などの災害に強いまちづくり</p> <p>(3) 防災・減災を目指したまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区の中で、ウォーキングする道に車が入れないようにすべきである。</li> <li>通学路について危険・不安な箇所がある。</li> <li>交通事故ゼロ、詐欺対策、子供の虐待対策、といったことを将来像に盛り込んでほしい。</li> <li>自治会の防災庫が、世帯が多い関係で一杯になってきている。したがって防災庫を増やすようお願いしたい。</li> <li>防災について、<b>中学生が地域の役に立つような仕組み</b>を考えてはどうか。</li> <li>行政の支援だけでなく、<b>住民同士の協働でも災害を乗り越える</b>ということを発信したい。</li> </ul>	<p><b>3 安全・安心なまちづくり</b></p> <p>(1) 事故や犯罪のない安全・安心なまちづくり</p> <p>(2) 地震や水害などの災害に強いまちづくり</p> <p>(3) <b>区民相互の支え合いによる安心を感じるまちづくり</b></p>
	<p><b>4 自然や歴史を大切にしたい情緒豊かなまちづくり</b></p> <p>(1) 計画的な水と緑の保全と、公共空間や民有地の一体的な緑化を推進するまちづくり</p> <p>(2) 地域資源の発掘・活用による、地区の個性と郷土愛をはぐくむまちづくり</p> <p>(3) 古いものと新しいものが調和したまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>自然や歴史</b>のあるまち。</li> <li><b>祭りなどのイベント</b>が残っている。</li> <li>対内外への情報発信力のあるまち。</li> <li>南区の花ひまわりをもっと前面に。</li> </ul>	<p><b>4 自然や歴史・文化を大切にしたい郷土愛をはぐくむまちづくり</b></p> <p>(1) <b>別所沼等の水や緑の保全</b>、公共空間や民有地の<b>緑化の推進による緑豊かな</b>まちづくり</p> <p>(2) 地域資源の発掘・<b>創造</b>により、<b>地域の個性を高め</b>、郷土愛をはぐくむまちづくり</p> <p>(3) <b>古き良き歴史・文化と新しいまちが調和する</b>まちづくり</p>
	<p><b>5 都市環境が整った快適なまちづくり</b></p> <p>(1) 地域特性を踏まえた、駅とその周辺整備による暮らしやすいまちづくり</p> <p>(2) 誰にもやさしい交通網の整った便利なまちづくり</p> <p>(3) 利便性の高い安全な道路や、公共下水道などの生活基盤の整備による、快適な生活環境を備えたまちづくり</p> <p>(4) 一人ひとりの環境への関心を高め、理解を深めることにより、省資源・省エネルギーの環境負荷に配慮したまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南浦和駅利用者から、東口に喫煙所を望む声がある。東口ではボイ捨ても多く問題になっている。</li> <li>駅について、会社の人員不足もあり、将来的には切符や窓口なども無くなる方向である。</li> <li><b>駅に高齢者が一時的に座れる</b>ような場所があればよいと思う。</li> <li><b>武蔵浦和駅の改札を出て降りる階段の暗さ</b>が危険である。</li> <li><b>駅前で完結するコンパクトな都市</b>。</li> <li>街がきれい、落ち着いている。</li> <li>出かける場所が他エリアになってしまう。</li> <li>ランドマークのような施設がなく、交通が活かしきれていない。</li> <li>南区は一人当たりの公園面積が少なく触れるべきでは。また運動にも触れるべき。</li> </ul>	<p><b>5 都市環境が整った快適なまちづくり</b></p> <p>(1) <b>駅とその周辺整備等</b>による、<b>活気があり</b>暮らしやすいまちづくり</p> <p>(2) 誰にもやさしい交通網の整った便利なまちづくり</p> <p>(3) 利便性の高い安全な<b>道路等</b>の生活基盤の<b>充実</b>による、快適な生活環境を備えたまちづくり</p> <p>(4) 一人ひとりの環境への関心が高く、省資源・省エネルギーの環境負荷に配慮したまちづくり</p>

# 「緑区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	 主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	<b>ホテル舞い・風かおる緑の街</b> 見沼田圃や武蔵野の面影を残す雑木林、斜面林など、地域の豊かな緑を大切にしながら、自然環境と調和した生活を実現し、住んで楽しい心の通い合うまちづくりを住民参加により進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の将来像について、緑区で夢と希望を持てる、ということを示すタイトルが良いのでは。</li> <li>・例えば緑区の特色を生かしながら、住んで良かった緑区、住みたい街緑区、といったものが考えられる。</li> <li>・10区の中でこの様な将来像を描ける区は他にないのではないか。</li> <li>・区の将来像は素晴らしいと考えている。</li> </ul>	<b>ホテル舞い・風かおる緑の街</b> 見沼田圃に代表される自然環境の豊かさ、人々のさわやかさや躍動感、緑の多いゆとりある良好な住宅地・発達した街という将来像に込められた想いを大切にしつつ、夢と希望の持てる住みやすいまちづくりを区民と行政との協働により進めます。
まちづくりのポイント	<b>1 郷土愛を育てるまちづくり</b> (1)誰もが参加でき支え合うコミュニティづくりと地域のリーダーとなる人材育成の支援 (2)地域の文化財などの歴史・文化資源を活用し、子どもの時から自分のまちに関心を持つ、我がまちを誇りとするひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>高齢者と若い人が多くなっているが、自治会の構成など、高齢者と若い人とのバランスも重要。</b></li> <li>・自治会の加入者が少なく、行政が区の加入を促す取り組みも必要では。</li> <li>・案山子の発祥記念碑の写真があるが、今の子供たちは童謡を知らない状況。</li> <li>・緑区のシニアクラブの加入率は10区で一番低く、支援をお願いしたい。</li> <li>・<b>小学生でもお年寄りでも、人が行き交う場所がある街</b>であるとよい。</li> <li>・「誰もが参加でき支え合うコミュニティづくり」の内容を具体的にしたい。また取り組み内容の情報発信力を高める必要があるのではないか。</li> <li>・花いっぱい活動を広範囲で区が推進していくと良い。</li> <li>・<b>田んぼ等があると子供たちは遊びにやってくる。</b>そのような環境を取り戻すことに力を入れてほしい。</li> <li>・住民のつながり強化</li> <li>・<b>子どもたちが地域活動に参加する仕組みづくりができると良い。</b></li> <li>・アンケートから緑区への親しみ度合いが低い結果になっているが、<b>愛着や誇りを育む</b>対策を行うべき。</li> <li>・「地域の文化財などの歴史・文化資源を活用し」の内容を具体的にすべき。</li> <li>・具体的例としては休憩所の設置や見沼にビクターセンターを設置することなどがある。</li> </ul>	<b>1 郷土愛を育てるまちづくり</b> (1)地域活動の機会創出と参加促進、地域のリーダー育成の支援 (2)まちの魅力を共有できる世代間交流と地域間交流の促進 (3)見沼田圃などの地域資源や歴史・文化資源を活用し、子どもの時から自分のまちに関心を持つ、我がまちを誇りとする人づくり
	<b>2 生活者に優しいまちづくり</b> (1)子育て支援、介護を必要とする人と介護をする人に対する支援の充実による、誰もが暮らしやすいまちづくり (2)歩行者や自転車利用者が安全に利用できる道路環境の整備 (3)地域の人と人とのつながりを深め、防災・防犯に関する意識の高揚と対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも緑区を住んでいて<b>安全安心で住みよい街</b>にしたい。</li> <li>・浦和区、西区のようにスポーツ施設の充実も重要ではないか。</li> <li>・「子育て支援」、「介護」が同じ項目に記されているが、<b>別に項目立てする必要があるか。</b></li> <li>・<b>またこの中には若者の支援、障害者への支援項目もあってよいのでは。</b></li> <li>・<b>高齢者の行く場所、集まる場所がない</b>ことが課題になっており、検討していただきたい。</li> <li>・バリアフリーの町。高齢化への対応。</li> <li>・歩道が整備されている(街路樹付き)。</li> <li>・公共交通機関が充実している(東北道の起点がある)。</li> <li>・交通渋滞が多い。</li> <li>・混合交通に対応した道路整備。</li> <li>・交通マナーの悪化への対応。</li> </ul>	<b>2 健康に暮らせるまちづくり</b> (1)子育て世代や若い世代への支援の充実 (2)高齢者や障害者、介護をする人々への支援の充実 (3)人が集い行き交いながら、 <b>ともに支えあう意識の醸成</b> (4)いつまでも元気で暮らせる健康づくりの支援
	<b>3 自然と共生するまちづくり</b> (1)緑豊かな環境を生かし、その保全に配慮したまちづくり (2)見沼田圃の農地や斜面林、雑木林などの自然環境の保全と活用 (3)多様な野生生物の生息・生育空間となる緑地、水辺環境などの保全・再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>幹線道路の渋滞</b>、それにとまなう生活道路への車の侵入があり、幹線道路の整備を進めるべきである。</li> <li>・<b>特定の道路が混むことが課題</b>となっている。</li> <li>・田んぼと等があると子供たちは遊びにやってくる。そのような環境を取り戻すことに力を入れてほしい。</li> <li>・<b>見沼田んぼは緑区にとって大きな特徴</b>であるので、アピールすべきポイントでは。</li> <li>・緑を守るには開発を制限する必要がある。</li> <li>・<b>桜並木</b>を区のシンボルにできればと考えている。</li> <li>・桜並等の名所に休憩所が無いので設置すれば賑わいが出てくるのでは。</li> <li>・<b>緑と健康の一体イベント</b>の開催。</li> </ul>	<b>3 安全で安心して暮らせるまちづくり</b> (1)交通安全対策の推進と安全な道路環境の整備 (2)防犯意識の高揚と対策の推進 (3)防災情報の提供と地域防災力の向上
	<b>4 生活環境の整ったまちづくり</b> (1)人と環境に優しい公共交通のさらなる充実 (2)土地区画整理事業などによる計画的な市街地形成の推進 (3)ボランティア活動の活性化による、ごみの減量化やリサイクル活動の支援		<b>4 自然と共生し、生活環境の整ったまちづくり</b> (1)緑や水辺などの自然環境の保全、自然と調和した生活環境の整備 (2)交通渋滞の解消に向けた幹線道路の整備 (3)土地区画整理事業などによる計画的な市街地形成の推進
	<b>5 にぎわいのあるまちづくり</b> (1)駅周辺地域の生活利便性の向上とにぎわいの創出 (2)産直販売や観光農園など、地産地消の取組による農業の活性化 (3)駅や区役所周辺などにおける地域活動の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>区には他に負けない観光資源があるのに認知されていない。</b></li> <li>・<b>区の魅力をもっと発信していきたい。</b></li> <li>・見沼田んぼを活用していきたい。</li> <li>・駅前ばかりに商業施設があるのに駐輪、駐車スペースが少ない。</li> <li>・大規模なイベントの開催。</li> </ul>	<b>5 にぎわいのあるまちづくり</b> (1)地域資源や観光資源の活用と情報発信による <b>にぎわいの創出</b> (2)産直販売や観光農園など、地産地消の取組による農業の活性化

# 「岩槻区の将来像」(素案)(第3部会(第1回)の意見反映)

	後期基本計画	主な市民意見 (次期計画に反映した主な意見は青字)	次期総合振興計画 (現行計画からの変更箇所は赤字/審議会意見反映箇所は緑字)
将来像	<p><b>自然と歴史、文化を守り育て、楽しむまち</b>                      岩槻区には豊かな緑と水辺、長い歴史を持つ神社仏閣、城下町や人形のまちとしての地域文化など、多彩な魅力があります。安心して心豊かな生活を送ることのできるまちの実現を基本に、これらの魅力を守り、生かしながら、農業や商工業、観光など産業面で新しい展開も促し、住んでいる人、訪れる人が岩槻のよさを共感できるまちづくりを進めます。</p>	<p>まちづくりで何を指すかということが明確にすべきである。</p>	<p><b>自然と歴史、文化を守り育て、楽しむまち</b>                      岩槻区には豊かな緑と水辺、長い歴史を持つ神社仏閣、城下町や人形のまちとしての地域文化など、多彩な魅力があります。安心して心豊かな生活を送ることのできるまちの実現を基本に、これらの魅力を守り、生かしながら、農業や商工業、観光など産業面で新しい展開も促し、住んでいる人、訪れる人が岩槻のよさを共感できるまちづくりを進めます。</p>
まちづくりのポイント	<p><b>1 多世代の参加と交流による、区民主役のまちづくり</b>                      (1) 住民同士のふれあいなどによる活力豊かな地域コミュニティの醸成                      (2) 区民と行政が連携した地域コミュニティの活性化に必要な仕組みづくり                      (3) 住民があらゆる分野で交流し、多様な文化を認め合い、暮らしを支え合う身近な国際交流の推進                      (4) 区民と行政とのパートナーシップの確立、区民の主体的なまちづくり活動に対する支援などによる、区民と行政が共に考え、はぐくむまちづくりの推進                      (5) 人形づくりや田植えなどの様々な体験を通じた、子どもの地域に対する愛着心や誇り、喜びをはぐくむ地域交流や教育の推進</p> <p><b>2 地域資源を生かした、魅力とにぎわいを創出するまちづくり</b>                      (1) 元荒川や赤坂沼、屋敷林・雑木林や斜面林など豊かな自然環境を守り、育てる活動の充実と、水辺と緑のネットワーク化の推進                      (2) 子どもの頃から優れた文化芸術に触れる機会の充実、区民の多彩な文化芸術活動の促進など、豊かな文化環境づくりの推進による、個性ある地域文化の育成                      (3) 人形をはじめとする歴史や文化に根ざした「岩槻らしさ」を磨き、発信し、都市型観光の形成に向けた受入環境の整備                      (4) 環境に優しく、安全な食料を提供する農業の振興や観光農園、クワイ・コマツナ等農産物のブランド化の推進</p> <p><b>3 生活環境の整った、安全・安心で暮らしやすいまちづくり</b>                      (1) 次代を担う自立した青少年の健全な育成の推進                      (2) スポーツなど健康づくりのための機会や場所の充実                      (3) 緑や水辺、歴史、文化が溶け合う美しい景観に恵まれた、ゆとりのある居住空間の維持、創出                      (4) 歩行者及び自転車利用者が安心して通行できる安全なまちづくり                      (5) 交通利便性の向上とにぎわいを創出する地下鉄7号線の延伸促進                      (6) 自助・共助・公助の連携による、地域防災力・防犯力の向上と高齢者や障害者、子育て世帯などが安心して暮らせる地域福祉社会の形成</p>	<p>・若者の定住に向け取組む必要がある。また県営住宅に入居する若い世代との交流が課題になっている。</p> <p>・区の中で活動している団体間をつなぐ役割を果たす組織が無く、行政と取組みを行いたい。</p> <p>・区主催の同窓会。</p> <p>・緑が多い</p> <p>・岩槻に程よい大きさのホールがなく、他市に行っている状況である。300~400人のホールがあれば。</p> <p>・ひな祭り期間は賑わうが、その他の時期は賑わっておらず、対策をお願いしたい。</p> <p>・駅の中の観光案内所をもっと活用したい。また駅の東西で活気が異なるように感じる。</p> <p>・<b>岩槻といえば歴史・文化・城下町であるが、さいたま市の中で岩槻の歴史と文化が認知されていない。</b></p> <p>・<b>埋もれている地域資源の発掘、を入れたい。また情報発信の文言を加えたい。</b></p> <p>・岩槻駅案内所の活用について、地域製品のPRができるようしたい。</p> <p>・他から人を呼び込むようにするには、駐車場の整備や岩槻城、道の駅等の箱物整備が必要ではないか。</p> <p>・区をあげて旅行会社等に区を売り込む必要がある。</p> <p>・歴史(岩槻城址)・伝統(人形)がある。・歴史や伝統のPRができていない。</p> <p>・岩槻の歴史を学ぶ勉強会。・人形をもっと売り出す。・城の再建。</p> <p>・<b>農業では、高齢化の中でも若手が頑張っている。(ヨーロッパ野菜など)</b></p> <p>・交通の利点を生かす点からも道の駅など農産物を扱う施設があると良い。</p> <p>・小松菜について生産が盛んだが、地域間競争の中にある。</p> <p>・豊富な地元グルメ。・小さな道の駅(空き地の活用)。</p> <p>・<b>地区は高齢化しており交通の便が向上するとよい。</b></p> <p>・<b>高齢者が区内を移動する手段が十分でない。</b></p> <p>・ランニング、ウォーキングコースの充実。・緑が多い。・古い建造物が残っている。</p> <p>・<b>交通ルールとマナーが守られる区になるよう取り組みを続けていきたい。</b></p> <p>・区内の地域間格差解消が課題である。将来に向けては地下鉄が延伸されるか次第であると考えている。</p> <p>・また座って談笑できるベンチ、場所を役所の中も含めてお願いしたい。また区内の交通網が不十分。</p> <p>・地下鉄が通ると街が変わると期待している。</p> <p>・<b>駅の近くの大型店舗が閉鎖し、買い物に行く場所がなくなっている。</b></p> <p>・<b>都内等へのアクセスの点から人口減少は予想され、地下鉄の開通を期待している。</b></p> <p>・<b>子供たちが成長したときに岩槻から出ていけない取組を行っていく必要がある。交通手段も一つだ。</b></p> <p>・<b>今後は観光地化に向け地下鉄と岩槻城があると良く、設置に向けた取り組みが普及すると良い。</b></p> <p>・地下鉄を通すということについて、農家にとっては用地の買収など割を食う話ではないか懸念</p> <p>・<b>地下鉄7号線は重要な事業で、人を呼び込む事業を積極的に推進していく必要がある。</b></p> <p>・インターチェンジがある。・商店街に活気がない。・駅のまわりをもっと発展させるべき。</p> <p>・コミュニティバスの充実高齢化・子どもが少ない。</p> <p>・子育て支援政策。・ハザードマップの回覧板での交付。・定住の奨励。</p>	<p><b>1 多世代の参加と交流による、区民主役のまちづくり</b>                      (1) 住民同士のふれあいなどによる活力豊かな地域コミュニティの醸成                      (2) 区民と行政が連携した地域コミュニティの活性化に必要な仕組みづくり                      (3) 住民があらゆる分野で交流し、多様な文化を認め合い、暮らしを支え合う身近な<b>地域社会の形成</b>                      (4) 区民と行政とのパートナーシップの確立、区民の主体的なまちづくり活動に対する支援などによる、区民と行政が共に考え、はぐくむまちづくりの推進                      (5) 人形づくりや田植えなどの様々な体験を通じた、子どもの地域に対する愛着心や誇り、喜びをはぐくむ地域交流や教育の推進</p> <p><b>2 地域資源を生かした、魅力の向上とにぎわいを創出するまちづくり</b>                      (1) <b>岩槻駅周辺の商業・文化機能の充実と歴史ある街並みを生かし、にぎわいを創出するまちづくりの推進</b>                      (2) 元荒川や屋敷林・雑木林や斜面林など豊かな自然環境を守り、育てる活動の充実と、水辺と緑のネットワーク化の推進                      (3) 子どもの頃から優れた文化芸術に触れる機会の充実、区民の多彩な文化芸術活動の<b>支援など</b>、豊かな文化環境づくりの推進による、個性ある地域文化の育成                      (4) <b>城下町としての歴史資源や、人形のまちという文化資源を生かした</b>「岩槻らしさ」を磨き、<b>市内外へ積極的に情報</b>発信し、<b>多彩なネットワークを持つ</b>都市型観光の形成に向けた受入環境の整備                      (5) 環境に優しく、安全な食料を提供する農業の振興や、クワイ・コマツナ・<b>ヨーロッパ野菜</b>等農産物のブランド化の推進</p> <p><b>3 生活環境の整った、安全・安心で暮らしやすいまちづくり</b>                      (1) 次代を担う自立した青少年の健全な育成の推進                      (2) スポーツなど健康づくりのための機会や場所の充実                      (3) 緑や水辺、歴史、文化が溶け合う美しい景観に恵まれた、ゆとりのある居住空間の維持、創出                      (4) 歩行者及び自転車利用者が安心して通行できる<b>ための交通安全意識の高揚と安全な道路整備の推進</b>                      (5) <b>高齢者をはじめ誰もが安心して利用しやすい身近な交通環境の充実</b>                      (6) <b>交通利便性の向上と若い世代の定住化促進や商店街の活性化を図るなど、更なるにぎわいの創出につながる</b>地下鉄7号線の延伸促進                      (7) 自助・共助・公助の連携による、地域防災力・防犯力の向上                      (8) <b>高齢者や障害者、子育て世帯などが安心して暮らせる地域福祉社会の形成</b></p>